

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林 昌幸
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-9000
事務事業名	4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属	140100 環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	事業	030000 ごみ処理施設運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						清掃センターに搬入された可燃ごみの焼却、不燃ごみの破砕等の適正処理を行う。 み処理に際し有害物質の発生を抑制し、自然環境の保全を図る。 搬入された廃棄物から再利用可能な資源物を分別し、リサイクルを行うことにより、循環型社会の形成が促進される。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。	ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。	ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
ごみ処理施設の安全で安定した運転及び、丁寧な各種操作や分別指導を行い、施設を大切に使うよう徹底する。	ごみ処理施設の安全で安定した運転及び、丁寧な各種操作や分別指導を行い、施設を大切に使うよう徹底する。

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。				
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		309,979	246,895
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		309,979	246,895
人員数(人)	正規職員	7.2	7.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	49,377.6	49,377.6
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	49,650.1	49,650.1
市民一人当たりの経費		6.9	5.7
総額		359,629.1	296,545.1

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	228,305	消耗品費17,552、燃料費4,164、電気料29,145、修繕料177,444
13節 委託費	51,262	機器点検委託料45,980、ばいじん量等測定業務委託料1,745、焼却灰等処分委託料38,424、廃乾電池運搬処理委託料1,014、ごみ処分委託料4,735外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	30,412	嘱託職員報酬16,269、土地借上料5,163、機器賃借料2,155、備品購入費4,137外

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	156,850	消耗品費19,000、燃料費5,600、電気料32,250、修繕料100,000
13節 委託費	50,721	機器点検委託料1,242、ばいじん量等測定業務委託料2,400、焼却灰等処分委託料42,000、廃乾電池運搬処理委託料1,266、ごみ処分委託料4,735外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	39,324	嘱託職員報酬15,667、土地借上料5,163、機器賃借料2,217、備品購入費13,000外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	長野広域連合による平成30年度の移行までの間、市が主体となり老朽化した施設を大切に扱うため、搬入者への分別指導や機械を大切に使うことを心がけた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	事故のない安全な作業管理の徹底に努めた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設処理能力が限界であり長野広域に移行するまでの間、現状が最低の人員数であるなか、お互いが協力し合い、施設を大切に使用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

ごみ処理における作業の安全及び安定した稼働を行うため、所内で労働安全推進会議を毎月開催し、安全作業と運転マニュアルの徹底を図った。今後は継続した形で、現場職員が小型車両系建設機械運転業務、つり上げ荷重クレーン運転業務の講習会を受講するなど、更なる作業の安全性の向上を図っていく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>今までも計画的な施設整備に努めてきているが、全体的な老朽化は進行するため、更に施設保全に留意し日々の運転を行い、ごみ処理広域化計画における移行時まで安定した施設稼働に努めたい。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>安全で衛生的な市民生活を継続するための必要不可欠な基盤事業。老朽化が著しい施設にあって、職員一丸となって丁寧な現場管理、施設管理が行われている。小型家電の仕分けなど、現場での資源化努力も継続されている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	